

**令和5年度  
一般選抜(前期日程)  
文化学科  
[言語文化系／地域文化創造系]  
小論文  
問題・出題の意図・採点評価基準**

令和5年2月25日

高知県立大学

I 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

（配点100点）

著作権者から公衆送信の許諾を得ていない為著作物の引用部分のみ削除して提供します。

著作権者から公衆送信の許諾を得ていない為著作物の引用部分のみ削除して提供します。

出典：中空萌「自然と知識——環境をどうとらえるか?」、『文化人類学の思考法』松村圭一郎、中川理、石井美保編、世界思想社、2019 年  
(出題の都合上、出典の文章を一部省略・改変した。)

注

マリノフスキー ポーランド生れのイギリスの人類学者 (1884～1942)

ハロルド・コンクリン アメリカの人類学者 (1926～2016)

ハヌノオ フィリピンのミンドロ島南東部熱帯降雨林に居住する民族。根栽・陸稲型の焼き畑農業を営む

ロバート・チェンバース イギリスの農業経済学者 (1932～)

問 1 下線部 (1) では「自然についての人類学の研究は、さまざまな方法で自然をめぐる『あたりまえ』のイメージを問いなおしてきた」と述べられています。この下線部の「『あたりまえ』のイメージ」とは何ですか。それがどのように問いなおされてきたのか、本文の内容に即して 300 文字以内の日本語でまとめなさい。

(配点 40 点)

問 2 下線部 (2) では「私たちの社会で信頼されている科学だけが唯一の自然知識ではない」と述べられています。この見解を踏まえて環境問題に向き合うにあたり、どのような方法が考えられますか。本文の内容を考慮して、具体例をあげながら 500 文字以内の日本語で述べなさい。

(配点 60 点)

<出題の意図>

- 問1 自然に対する知識を問いなおすことについて書かれた課題文を正確に読み取ることができているかどうかを見る。
- 問2 課題文の内容に基づいて、環境問題と自然をめぐる文化的知識・理解の多様性の関係を考えるにあたり、論理的に記述する能力を見る。

<採点評価基準>

- 問1 次の点を見て評価する。
- (1) 自然に対する知識を問いなおすことについて書かれた課題文の内容を正確に理解することができるか（読解力）。
  - (2) 筆者の考えを、適切な文章で表現できているか（文章表現力）。
- 問2 次の点を見て評価する。
- (1) 課題文の理解に基づいて、具体例をあげながら論述できているか（読解力、知識・理解力）。
  - (2) 環境問題と自然をめぐる文化的知識・理解の多様性の関係を考えるにあたり、論理的かつ的確に表現することができるか（論理的思考力、文章表現力）。

Ⅱ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

（配点 100点）

著作権者から公衆送信の許諾を得ていない為著作物の引用部分のみ削除して提供します。

出典：Zoya Mateen and Meryl Sebastian, “How Fast Food Giants Like McDonald’s Found Their Indian Soul” *BBC News*, May 7, 2022  
(<https://www.bbc.com/news/world-asia-india-61268771>, 2022.6.13 アクセス)  
(出題の都合上、出典の文章を一部省略・改変した。)

注

eatery 飲食店

novelty 目新しい物

upscale 高額所得層の

stand out 目立つ

adapt A to B AをBに順応させる

consultancy firm コンサルタント会社

sprinkle A on B AをBに振りかける

tweak ～を微調整する

come out with ～を売り出す

ketchup variant ケチャップを使った製品

sachet (粉末、液体などが入った) 小袋

heterogeneous 異種の

iconic 象徴的な

chocolate nougat bar チョコレート・ヌガー・バー (ナッツの入ったチョコレート味のお菓子)

garnish A with B BをAに添える

petal 花びら

saffron サフラン (サフランの花の黄色い柱頭を乾燥させた粉末、香辛料・着色料)

incorporate A into B AをBにくみ入れる

問1 課題文の第1パラグラフに書かれている内容を200字以内の日本語で要約しなさい。

(配点 50点)

問2 課題文によれば、海外のファストフードチェーンがインドに進出するにあたって、現地の食文化に合わせて商品を開発しています。日本の食品が異文化で広く受け入れられるためにはどのような工夫をすればよいか、課題文をふまえて、具体例とあなたの考える理由を150語程度の英語で論じなさい。

(配点 50点)

<出題の意図>

- 問1 ファストフードチェーンのインドへの進出について書かれた課題文（第1パラグラフ）の内容を読み取り、要点をふまえて日本語で的確にまとめることができるかどうかをみる。
- 問2 課題文を参照し、適切な事例を示しながら、自分自身の考えを、文法的に正しく、論理的で分かりやすい英文で記述することができるかどうかをみる。

<採点評価基準>

- 問1 次の点を見て評価する。
- (1) ファストフードチェーンのインドへの進出について書かれた課題文（第1パラグラフ）の内容を正確に理解することができるか（読解力）。
  - (2) 正しく読み解いた課題文（第1パラグラフ）を適切な語彙を用いてまとめることができるか（文章表現力）。
- 問2 次の点を見て評価する。
- (1) 課題文の理解に基づいて、適切な例をあげることができるか（読解力、知識・理解力）。
  - (2) 異文化で日本の食品が広く受け入れられる可能性について、自らの考えを論理的に展開することができるか（論理的思考力）。
  - (3) 文法的な間違いがなく、正確に意味が伝わる英文を書くことができるか（文章表現力）。